

## サクラソウの北海道分布

千歳市 五十嵐 博

### はじめに

鷺谷先生がサクラソウ:*Primura sieboldii* E. Morren について書かれたので、サクラソウの北海道分布を報告する。2010 年度の春に数箇所を見て回ったが、新しい確認地には出会えていない。

### サクラソウの生育環境

以下に各文献の生育環境を整理した。

原(1983)では、山すそに生える多年草。辻井・鮫島・梅沢(1993)では、原野のやや湿った所、明るい林内。滝田(2001)では、低地のやや湿った草原や林縁に群生する。梅沢(2007)では、低地の明るい林内や草地とある。

現地確認した環境は、カシワ林(明るい林内)であり、その周辺などの林道沿いなどであった。

### サクラソウの産地報告

以下に各文献の産地報告を羅列した。

原(1979)では鶴川。伊藤(1981)では、道南西部に多い。原(1983)では、道内では日高と胆振にあると記され、撮影地は門別である。伊藤・日野間(1987)では、胆振、日高支庁。辻井・鮫島・梅沢(1993)では、地域報告はないが鶴川町で撮影されている。鷺谷(1998)では、北海道では、かつては苫小牧あたりから静内までの海岸に沿って、サクラソウの自生地がたくさんあったといわれる。

滝田(2001)では、道内では日高、胆振地方に自生するが減少していると記され、門別町平松と詳細な産地記載がある。梅沢(2007)では、北(胆振地方・日高地方)・本・九とあり、撮影地は日高町門別とある。金子(2007)では、道内に6地点が図示されており、大樹、広尾、様似、新冠、日高門別、富川であるが、大樹、広尾、様似に関して植栽の可能性があり疑問である。日野間(2010)では、石山、幌内、鶴川、富川、門別、明和、静内②の2.5万地形図名の7地点が図示されているが、石山は植栽の可能性が考えられるので除外した。

### サクラソウの分布

図に●印で示した筆者の確認済み産地は、北から稲里、ウトナイ湖、軽舞、鶴川、富川、門別、厚賀、静内②の8地点である。

この中で、稲里は道路沿いの盛土上での確認であり自生ではなく、移動によるものと思われた。

また、ウトナイ湖の確認は人家付近の空き地での確認であり、植栽種の可能性地である。

日野間(2010)との重複を除くと幌内、明和の2地点が○印で追加できた。これらを除いた産地で北は、むかわ町二宮周辺から南は新ひだか町静内静内霊園付近である。

静内川を挟む、新ひだか町うぐいすの森、同町真歌公園、新ひだか町三石、浦河町、様似町などでは自生を確認していない。